

富良野市

子どもの読書推進プラン

(富良野市次世代育成支援地域行動計画・後期計画基本施策)



2010年3月
富良野市教育委員会

【基本的な考え】

読書は子どもの心を豊かにし、社会性を育むための大切な活動であることから、すべての子どもたちが読書に親しみ読む楽しさを感じ、いつでもどこでも本と出会い読書ができる環境の整備に向け、家庭・地域・学校・行政の連携により、子どもの読書活動のための環境づくりや、読書の大切さを伝える啓発活動を推進します。

(1) プランの目的

すべての子どもたちが読書に親しみ、読む楽しさを感じることができるよう、いつでもどこでも本と出会い読書ができる環境づくりを目的とします。

(2) プランの位置づけ

子どもを総合的に育成する観点から、「富良野市次世代育成支援地域行動計画」(後期計画)の基本施策として位置づけます。

(3) プランの目標

子どもの読書活動推進のための環境づくり
 家庭・地域・学校・行政の連携による読書活動の推進
 読書の大切さを伝える啓発活動

(4) プランの対象 概ね満18歳までのすべての子どもたち

(5) プランの期間 平成22年度から26年度までの5年間とし、必要に応じて見直しを行いません。

富良野市子どもの読書推進プランの成長ライン					
	乳幼児期・就学前		小中学生期		高校生期
	周産期	乳幼児期	小学生期	中学生期	
	[推進方針] ◎妊娠期間中からの妊婦に対する絵本や置話などの読書の奨励	[推進方針] ◎乳幼児期からの読み聞かせなど、本に出会う機会の創出 ◎家庭で親や大人が率先して読書をするなど、本を読む環境づくりや読書の日常化 ◎「おはなし会」の積極的な開催や、子どもに属するボランティアグループの育成などを推進するネットワークづくり	[推進方針] ◎児童生徒の読書習慣の定着 ◎各教科、特別活動の時間における学校図書館の計画的な利用による児童生徒の主体的・意欲的な読書活動や学習活動の充実 ◎児童生徒が使用する図書資料の均衡のとれた整備・充実と、学校図書館の新旧図書資料の計画的な更新 ◎学校支援ボランティアや市立図書館との連携による地域ぐるみの読書環境の形成		
家庭	■家庭における読み聞かせのための絵本などの準備	■家庭における読み聞かせの実施 ■おはなし会などへの参加	■家庭における読書の推進		進路・適性などに応じた図書資料の選択収集・提供
地域図書館	■妊婦を対象とした読み聞かせ教室、おすすめ絵本ブックリストの作成・紹介	■読み聞かせ教室の開催 ■おすすめ絵本リストの作成・紹介 ■児童書コーナーの充実・貸出 ■読書推進イベント等の開催	■学校支援ボランティアへの図書資料・情報提供 ■読み聞かせボランティア養成講座の開催 ■団体貸出の推進 ■推薦図書情報などの提供 ■新一年生の保護者に対する利用案内・利用者登録の推進 ■ブックラック事業の推進	■団体貸出の推進 ■ブックラック事業の推進 ■推薦図書情報などの提供	
学校			■「朝の読書の時間・読書タイム」や「読書週間・月間」の継続実施 ■読み聞かせ等の活動の実施(小学校) ■家庭における読書の奨励のための情報提供 ■学校図書館における図書資料の計画的な購入・更新による整備・充実 ■蔵書のデータベース化による適切な管理と学校間の共同利用に向けた情報化 ■学校支援ボランティアの活用 ■ブックフェスティバルの実施(小学校) ■ブックラック事業の活用		
関係機関	■読み聞かせ啓蒙活動の実施 ■ブックスタートの推進体制づくり	■読み聞かせ啓蒙活動の実施	■学校教育関係者の研修会の開催		

【推進事業】

(1) 読書活動推進に向けた協力体制づくり

子どもたちが読書に親しむためには、市立図書館を中心に関係する機関や団体が、それぞれの立場でその役割を主体的に担い、社会全体の取り組みとして子どもたちが自主的に読書活動を進めることができる環境づくりに努めることが重要です。

推進方策

市立図書館と市内保健福祉関係機関との連携を進め、乳幼児を持つ保護者を対象とした各種事業を利用しながら読書活動への導入に努めます。

学校図書室と市立図書館の連携を密にするための関係者の話し合いの場をつくります。

図書館間の協力貸出や相互貸借などを推進し、図書資料の共同利用を進めます。

推進体制

子ども読書推進会議を、読書推進ボランティア団体、市立図書館及び市関係部局、幼稚園・保育所・小中学校・高校などで構成し連携協力によりプランの推進を図ります。

具体的取り組み

- ・家庭、地域、学校などの分野ごとに読書推進会議を随時開催し、子どもたちが必要とする本や調べ学習など授業に使う本の選定及び調達手法についての情報共有を図ります。
- ・道立図書館ネットワークの活用や道内図書館間の連携を一層強化します。

事業主体 教育委員会（図書館）

〔数値目標〕 平成26年度：5回

(2) 家庭における読書活動の推進

子どもが読書を行なう上で最も関わりが深いのは家庭であり、親や家族の働きかけが重要なことから、市保健医療課、子ども未来課、市立図書館、読書推進ボランティアなどの連携により家庭における読書推進の啓発・啓蒙をはかる必要があります。

推進方策

妊娠期間中からの妊婦に対する絵本や童話等の読書を奨励します。

乳幼児期からの読み聞かせなど、本に出会う機会を創出します。

家庭で親や大人が進んで読書をするなど、本を読む環境づくりや読書の日常化を図ります。

市立図書館では「おはなし会」の積極的な開催や、ボランティアの育成・支援などを一層推進できるネットワークづくりを進めます。

具体的取り組み（括弧内は連携する事業主体）

- ・妊婦や子どもの保護者に対する読み聞かせ教室
（保健医療課・子ども未来課・図書館・ボランティア）

- ・乳幼児健診時における読み聞かせの実施及びアドバイス
（保健医療課・子ども未来課・図書館・ボランティア）
- ・おすすめ絵本ブックリストの作成、紹介（図書館・ボランティア）
- ・家庭での読み聞かせの実施（家庭）
- ・ブックスタートに向けた体制づくり（保健医療課・子ども未来課・図書館・ボランティア）
- ・保護者への読み聞かせに関する知識や情報の提供（子ども未来課・図書館・ボランティア）

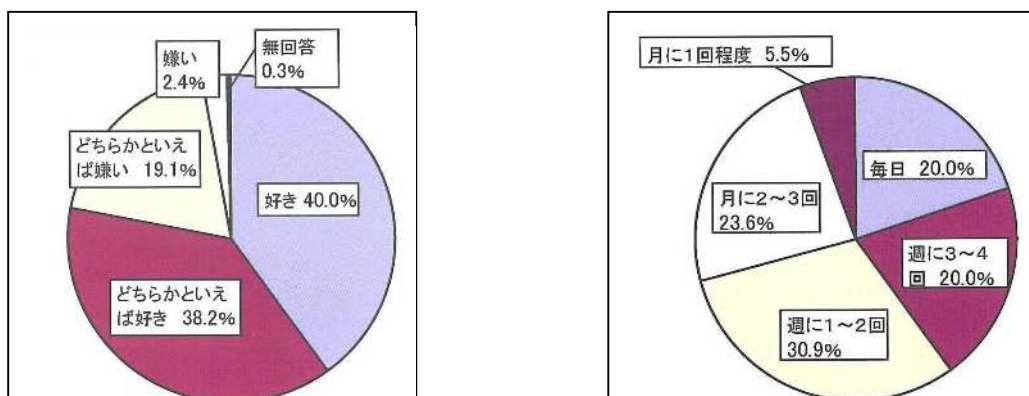
事業主体 教育委員会（図書館）

[資料・家庭における読書環境の現状]

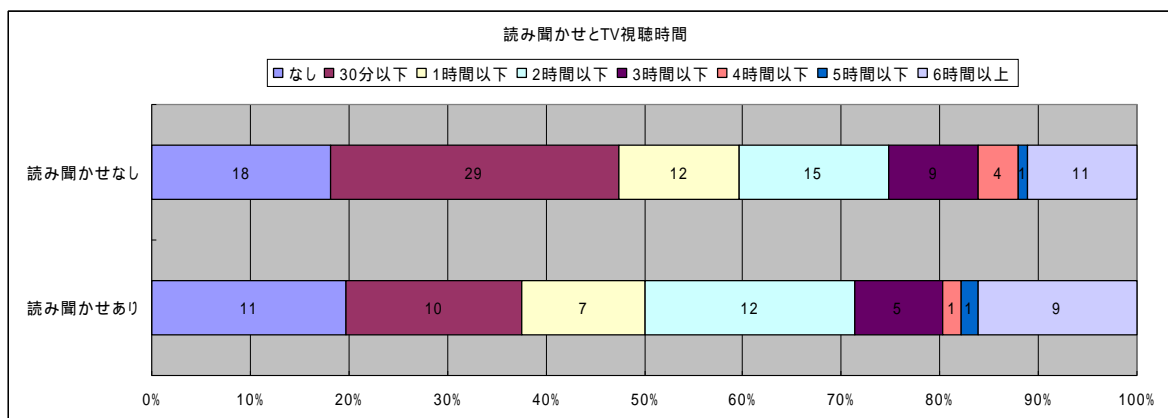
「子どもの読書推進プラン策定に関わるアンケート調査」(平成 21 年 9 月) では、本を読むことが“好き”“どちらかといえば好き”と回答した幼稚園児・保育所児の保護者が約 8 割に達していますが、一方で読み聞かせの頻度にはかなりのばらつきがあります。

また、「乳児 7 ヶ月検診会場におけるアンケート調査」(平成 20 年度) では、読み聞かせをしている家庭ではテレビ視聴時間が他の家庭よりも短く、家庭における子育てに対する関心度を高めるうえでも、読書活動の実践に向けた取り組みが重要な課題となっています。

「子どもの読書推進プラン策定に関わるアンケート調査」(平成 21 年 9 月実施)



「乳児 7 ヶ月検診会場におけるアンケート調査」(平成 20 年度)



(3) 地域・図書館における読書活動の推進

幼児期において、幼稚園・保育所は家庭とともに人間形成の重要な場であり、生涯の中で最も知的好奇心が高く、想像力・思考力・語彙力などを広げ、豊かな感性を育むには最適な時期です。このため、市立図書館と幼稚園・保育所などが連携し、読書推進ボランティアなどの協力のもとで地域の施設における読書活動を推進する必要があります。

推進方策

市立図書館は子どもの読書に対するサービスを市内全域に広げ、読書推進ボランティア、幼稚園、保育所、その他関係機関との連携協力により読書環境の整備に努めます。

幼稚園や保育所において、市立図書館や読書推進ボランティアなどの連携により、幼児期から読書習慣づけを進めるために子どもが絵本などに親しむ機会をつくります。

読書推進ボランティア団体等に対して、研修の機会や活動の場の提供などの支援をします。

具体的取り組み (括弧内は連携する事業主体)

- ・ 読み聞かせ、おはなし会などの実施 (図書館・幼稚園・保育所・ボランティア)
- ・ 幼稚園教諭、保育士の技術向上のための研修会 (図書館・幼稚園・保育所・ボランティア)
- ・ 読み聞かせ活動の多様化と頻度の増加 (幼稚園・保育所・ボランティア・図書館)
- ・ 図書館の児童書コーナーの図書資料の充実及び環境整備 (図書館)
- ・ 季節の行事などにあわせた特集・テーマ展示の推進 (図書館)
- ・ 子ども読書週間における読書推進イベントの実施
(図書館・ボランティアなどによる実行委員会)
- ・ おすすめ本のリスト作成、配布による読書推進
(図書館・ボランティア・幼稚園・保育所・学校)
- ・ 団体貸出の推進 (幼稚園・保育所・図書館)
- ・ ブックフェスティバルや読み聞かせキャラバンの実施 (図書館・幼稚園・保育所)

事業主体 教育委員会 (図書館)

〔数値目標〕 平成 21 年度：50 回 平成 26 年度：70 回

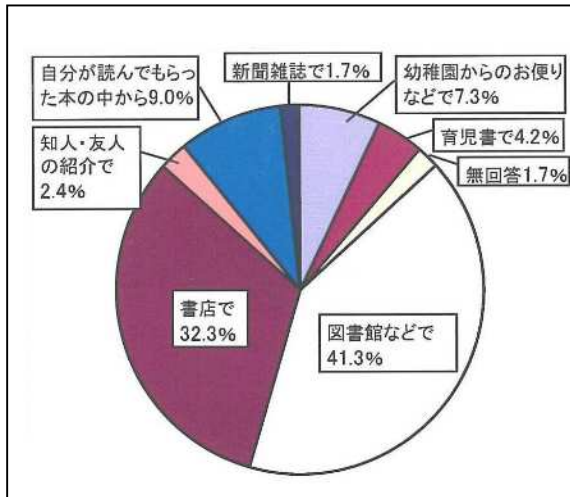


[資料・親子読書における図書館利用の現状]

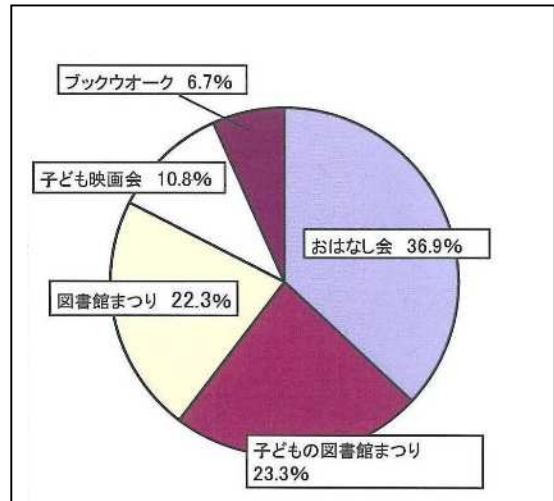
読み聞かせのための本の選書については市立図書館を利用する割合が約4割に達しており、図書館で開催している“おはなし会”などへの参加も約4割近くにのぼっています。

「子どもの読書推進プラン策定に関わるアンケート調査」(平成21年9月実施)

保護者が子どもの本を選ぶときに利用するもの



親子で利用する図書館イベントの内訳



(4) 学校における読書活動の推進

児童生徒の学習意欲や関心、思考力や想像力・判断力を高め、表現力や行動力を豊かにするとともに、学習指導要領が目指す教育を推進するために、読書活動の推進は極めて重要です。このため、児童生徒が読書に親しむ習慣付けを一層推進するため、読書指導及び学校図書館の図書資料の充実とその利用・活用を進め児童生徒の主体的・意欲的な学習活動や読書活動につなげていくことが必要です。

推進方策

児童生徒の読書習慣の定着を図ります。

各教科、特別活動の時間における学校図書館の計画的な利用による、児童生徒の主体的・意欲的な読書活動や学習活動の充実を図ります。

児童生徒が使用する図書資料の均衡のとれた整備・充実と、学校図書館の新旧図書資料の計画的な更新を進めます。

学校支援読書推進ボランティアや市立図書館との連携による地域ぐるみの読書環境の形成を進めます。

具体的取り組み (括弧内は連携する事業主体)

- ・「朝の読書の時間・読書タイム」や「読書週間・月間」の継続実施(小中学校)
- ・読み聞かせ等の活動の実施(小中学校)
- ・家庭における読書の奨励のための情報提供(小中学校)

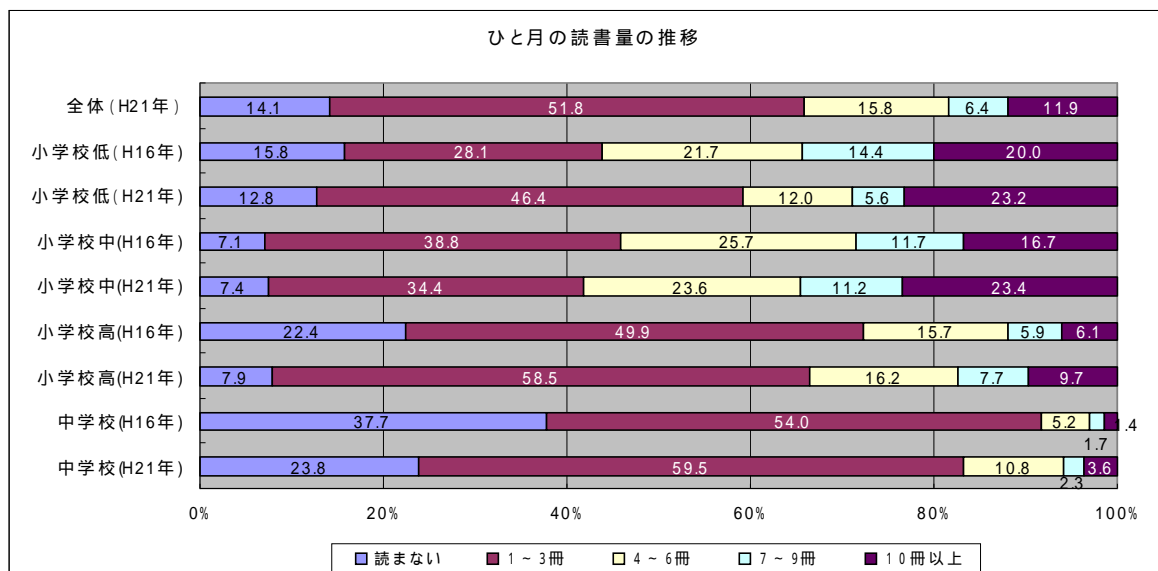
- ・各教科、特別活動の時間等での学校図書館の利用及び図書館利用教育の推進
(小中学校・高校)
- ・図書資料の計画的な購入・更新による整備・充実(小中学校・学校教育課・図書館)
- ・情報化による適切な図書管理と学校間の共同利用の推進
(小中学校・学校教育課・図書館)
- ・学校教育関係者を対象とした研修会の開催(学校教育課・図書館)
- ・読書推進ボランティア養成講座の開催(社会教育課・ボランティア・図書館)
- ・団体貸出の利用促進(小中学校・高校・図書館)
- ・学校支援読書ボランティアの活用(社会教育課・ボランティア・図書館)
- ・新一年生の保護者に対する利用案内配布及び利用者登録の推進(図書館・小学校)
- ・ブックトラック事業の活用及び推進(図書館・小中学校)
- ・ブックフェスティバルの実施(図書館・小学校・PTA・ボランティア)

事業主体 教育委員会(図書館)

//////
[資料・学校における読書活動の現状]

小中学校においては、本を読む児童生徒の比率及び読書冊数が増加しており、“朝の一斉読書”“読書タイムの設定”などの読書推進に取り組んでいる成果と考えられます。

「子どもの読書推進プラン策定に関わるアンケート調査」(平成21年9月実施)



【プラン策定の経過】

- 平成 21 年 8 月末～ 9 月末 「子どもの読書推進プラン策定に関わるアンケート調査」実施
調査対象：幼稚園・保育所等保護者、市内全小中学校児童生徒、市内小中学校
- 10 月 20 日 市内校長会においてアンケート調査結果公表
- 11 月 21 日 「地域・図書館における読書活動の推進ワーキング」開催
参加者：読書推進ボランティア代表、保護者代表、保育所保育士、
図書館長
- 25 日 「学校における読書活動の推進ワーキング」開催
参加者：学校支援読書推進ボランティア代表、学校教育課学務係長、
社会教育課社会教育係長、図書館長
- 27 日 「家庭における読書活動の推進ワーキング」開催
参加者：読書推進ボランティア、子育て支援センター職員、
市保健医療課保健師、図書館長・職員
- 12 月 8 日 社会教育委員会議において素案説明・意見聴取
21 日 市内校長会において素案説明・意見聴取
- 平成 22 年 1 月 29 日 教育委員会協議会において素案説明・意見聴取
- 1 月～ 2 月 次世代育成支援実務者会議（4 回開催）
- 2 月～ 3 月 次世代育成支援地域協議会開催（2 回開催）
- 3 月 4 日～ 23 日 パブリックコメント実施
- 3 月 30 日 計画決定